

東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部

(第19回) 議事録

日時：令和3年7月16日（金） 10：15－10：35

場所：官邸2階大ホール

出席者：菅内閣総理大臣、麻生副総理・財務大臣・内閣府特命担当大臣、加藤内閣官房長官、武田総務大臣、小野田法務大臣政務官（代理出席）、鈴木外務大臣政務官（代理出席）、萩生田文部科学大臣、田村厚生労働大臣、野上農林水産大臣、梶山経済産業大臣・内閣府特命担当大臣、赤羽国土交通大臣、小泉環境大臣・内閣府特命担当大臣、岸防衛大臣、平沢復興大臣、棚橋国家公安委員会委員長・内閣府特命担当大臣、河野内閣府特命担当大臣、坂本内閣府特命担当大臣、西村内閣府特命担当大臣、平井内閣府特命担当大臣、丸川東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当大臣・内閣府特命担当大臣、井上内閣府特命担当大臣、坂井内閣官房副長官、岡田内閣官房副長官、杉田内閣官房副長官

【丸川大臣】

ただ今から、東京オリンピック・パラリンピック競技大会推進本部の第19回会合を開催します。私の方で進行を務めさせていただきます。

それでは、議事に入ります。議題1：東京大会の開催を控えた政府の取組状況について、平田事務局長から説明いたします。

【平田事務局長】

1週間後に開催を控えた東京大会への政府の取組状況について、資料1に沿って説明いたします。

コロナ感染症対策につきましては、安全・安心な大会を実現するため、来日する全てのアスリート及び大会関係者に対して徹底した感染症対策を行います。

具体的には、出国前、入国時、入国後のそれぞれにおいて必要な頻度で検査を行います。また、行動範囲を原則として、宿泊施設及び競技会場等に限定するとともに、厳格な行動管理を実施し、国内にお住いの方々と交わらないようにします。そして、ルールに違反した場合には、大会参加資格をなく奪する等の措置を講じることとしています。

セキュリティ対策については、内閣官房にセキュリティ調整センターを設置し、関係機関間の迅速・円滑な情報共有・活動調整を実施します。また、ドローン対策や自然災害対策を推進するとともに、最新の情勢を踏まえたテロ対策・サイバーセキュリティ対策を徹底いたします。

交通対策については、経済界に対する呼びかけや政府自ら率先したテレワークの推進

等による交通需要削減の働きかけを行います。公共交通については、大会の開催期間中のさらなる人流の抑制に努めるとともに、道路交通については、都心部で大会前の交通量の30%減等を目指します。また、物流事業者等に対して、多様な業種や中小事業者を含め、働きかけを強化いたします。

暑さ対策については、主要競技会場周辺の暑さ指数等の情報発信など、組織委員会や東京都等と連携して、大会本番の暑さ対策に万全を期します。

東京大会の開催に向け、これら政府の取組をしっかりと進めてまいります。説明は以上となります。よろしく願いいたします。

【丸川大臣】

次に、議題2：東京大会におけるセキュリティ対策の検討・推進状況について、セキュリティ幹事会座長の沖田内閣危機管理監から説明をいたします。

【沖田内閣危機管理監】

お手元の資料2をご覧ください。東京大会におけるテロやサイバー攻撃などのセキュリティ情勢は予断を許さない状況にあり、また、自然災害についても、的確に対応するための備えが必要となります。

そのため、この推進本部の下に置かれた「セキュリティ幹事会」において、東京都や組織委員会も含めた関係機関と連携し、これまで、各種対策を検討・推進してまいりました。

具体的には、ドローン対策や、鉄道テロ対策はもとより、サイバーセキュリティ対処調整センターを中心に、サイバー攻撃に関する情報共有や、事案発生時の迅速な対処態勢の構築など、諸対策を講じております。加えて、自然災害対策にも万全を期すため、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた訓練の実施等を進めてまいりました。

そして、大会期間中においては、官邸に設置したセキュリティ調整センターによる、迅速な情報共有や活動調整を実施いたします。

また、最新の情勢を踏まえた的確なテロ・サイバー対策を実施するとともに、感染症対策にも十分配慮し、万一、感染者が発生した場合にあっても、必要な各種セキュリティ対策を維持できる態勢を確保いたします。

引き続き、関係機関が緊密に連携し、セキュリティの確保に万全を期してまいります。

【丸川大臣】

それでは、これまでの説明に対し、ご発言をお願いします。

【麻生 財務大臣】

財務省・税関では、安全・安心な大会の実現に向け、検査職員を通常より約4割増員し、関係省庁とも連携しつつ、水際でのテロ対策や円滑な通関等に万全を期しております。

【小野田法務大臣政務官（代理出席）】

法務省としては、安全で安心な東京オリンピック・パラリンピック競技大会の実現に向けて、テロ等の未然防止、更には新型コロナウイルスの流入防止のための水際対策に万全を期するとともに、大会関係者の円滑な出入国審査を実施してまいりたいと考えております。

【鈴木外務政務官（代理出席）】

外務省としては、訪日される首脳級要人の接遇に遺漏ないよう準備を進めております。特に、外国要人の防疫措置については、外交儀礼上の配慮を行いつつも、国内外の感染状況等を踏まえ、入国時の検査や一行の人数の絞り込み等の一定の防疫措置に従っていただくことで準備を進めております。

これまで各国・地域に対してこうした日本側の立場を説明してきており、概ね理解を得てきているところです。今後も新型コロナの感染リスクを最小化する観点から、各国・地域の協力を得て、安全・安心な東京大会を実現できるよう努めて参ります。

【萩生田 文部科学大臣】

日本代表選手たちは競技へ向け、最終調整を行う段階に入りました。既に選手村近辺に設置したサポート拠点の利用も開始されました。ナショナルトレーニングセンターなどとあわせ、選手の皆さんが、日頃の鍛錬の成果を存分に発揮されるように、支援に万全を期してまいります。

【田村 厚生労働大臣】

厚生労働省では、これまで、安全・安心な東京大会開催の実現に向け、新型コロナウイルス感染症対策を含め、関係者と緊密に連携して取り組んできたところであります。引き続き、水際対策や、国内での検査・医療提供体制の充実といった対策に全力を挙げてまいります。

【野上 農林水産大臣】

農林水産省としては、国産食材の選手村食堂での利用やビクトリーブーケの円滑な供給に取り組むほか、動植物の輸出入検疫の迅速かつ円滑な実施により安全・安心な大会の実現に万全を期してまいります。

【梶山 経済産業大臣】

経済産業省としては、関係省庁と連携し、大会期間中のテレワークの集中的な実施や、物流の輸送頻度の削減等を経済界に呼びかけるなど、交通需要の削減を進めております。また、電力安定供給の確保、サイバーセキュリティ対策の観点から、万が一の事態に備えるべく、24時間の特別対応体制を構築する等、安全・安心な大会の実現に向けて、最大限貢献してまいります。

【赤羽 国土交通大臣】

国土交通省では、安全・安心な東京大会の実現に向け、公共交通機関におけるテロ・セキュリティ対策や、選手・大会関係者の円滑な移動環境の確保など、その責務をしっかりと果たして参ります。このため、空港・駅等における不審者・不審物の検査体制の強化、海上保安庁による臨海部の警備の強化に取り組むほか、首都高速道路の利用抑制を図るためロードプライシング等を実施し、人流・物流の抑制を図って参ります。

【小泉 環境大臣】

今夏は、例年に比べて大会期間中も暑くなる予想です。環境省では、熱中症予防情報サイトのオリパラ特設ページで、競技会場周辺の暑さ指数を提供しています。また、一部の競技会場内には測定器を設置して、関係者がリアルタイムで暑さ指数を確認できるようにしました。

関係省庁とともに熱中症対策を進め、安全な大会運営に貢献してまいります。

【岸 防衛大臣】

防衛省・自衛隊としては、競技会場周辺を含む我が国上空の警戒監視など、大会のセキュリティ確保における役割を果たすとともに、大会組織委員会からの要請に基づき、国旗掲揚等の協力など式典等大会運営に対して、約8500名の隊員をもって協力を行います。また、17名の自衛官が日本代表として各種競技に参加いたします。大会の成功に向けて、全力で取り組んでまいります。

【平沢 復興大臣】

東京大会の理念は「復興五輪」であり、復興庁としては、復興しつつある被災地の姿や魅力を国内外に発信し、被災地の方々を勇気付け、復興を後押しするものとなるよう取り組んでまいります。

【棚橋国家公安委員会委員長】

開催国としての治安責任を全うするため、要人や選手団などの安全確保、サイバー攻撃対策、重要施設の警戒警備などを徹底してまいります。また、大会関係者の安全・円滑な輸送と都市活動の両立を図るため、交通総量の抑制、的確な交通規制などの諸対策を推進してまいります。大会期間中においても、自然災害への備えと、発災時の的確な対応に万全を期してまいります。

【西村 経済再生担当大臣】

東京都に緊急事態宣言が発出されている中での開催であり、感染拡大を抑え、医療提供体制を確保していくことが重要であります。引き続き、東京都や関係自治体と連携して、飲食店における時短、検査、テレワークの推進、休暇の分散取得などにしっかりと取り組んでいきたいと考えております。

【丸川大臣】

ありがとうございました。私自身も、感染症対策に万全を期すとともに、セキュリティ対策、暑さ対策など、安全・安心な大会を実現するために大会組織委員会や東京都と連携して、全力で取り組んでまいりますので、関係各省におかれましても、ご協力をお願いいたします。それでは、プレスが入室いたします。

[プレス入室]

【丸川大臣】

菅内閣総理大臣からご挨拶を頂きたいと存じます。よろしくをお願いいたします。

【菅内閣総理大臣】

東京オリンピックの開幕まで、いよいよ1週間となりました。

緊急事態宣言の下で開催される中で、国民の命と健康を守るために、感染対策を徹底し、安全・安心な大会を実現してまいります。

政府としては、まずは水際対策に全力を尽くします。私自身、昨日、最前線である成田空港の検疫を視察しました。オリパラ関係者が実際にたどるルートを確認し、あらためて対策の徹底を指示いたしました。

海外から入国する選手や大会関係者について、検査や行動管理を徹底し、大会組織委員会や東京都と連携して、万全な対応を行ってまいります。

また、感染対策とあわせて、セキュリティ対策などに厳重な対応を行っております。昨日は、空港の警察署を訪問し、大会に向けた警備などの対応状況を確認いたしました。

今後大会に向け、会場周辺のドローンの飛行禁止、鉄道テロ対策、各事業者におけるサイバーセキュリティ対策を徹底していただくとともに、テレワークの推進、交通規制などによる都内の交通量の削減などに取り組んでいただくようお願いいたします。

各大臣におかれては、安心・安全な大会の実現に向けて、最後まで高い緊張感を持って取り組んでいただきますようお願いいたします。

【丸川大臣】

総理、ありがとうございました。それでは、報道関係者は退室を願います。

[プレス退室]

【丸川大臣】

大会期間中のご協力、何卒よろしくお願い申し上げます。本日の会合は閉会とさせていただきます。ありがとうございました。